KA01209G/33/JA/06.23-00

71637880 2023-11-01

簡易取扱説明書 Tankside Monitor NRF81

タンクゲージ



これらは簡易取扱説明書であり、正確な情報については必ず 取り扱い説明書を参照下さい。

機器に関する詳細情報は、取扱説明書とその他の関連資料に 記載されています。

すべての機器バージョンのこれらの資料は、以下から入手で きます。

- インターネット: www.endress.com/deviceviewer
- スマートフォン/タブレット: Endress+Hauser Operations App



1 関連資料



2 本説明書について

2.1 シンボル

2.1.1 安全シンボル

🛕 危険

危険な状況を警告するシンボルです。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡 したり、大けがをしたりするほか、爆発・火災を引き起こす恐れがあります。

▲ 警告

危険な状況を警告するシンボルです。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡、 大けが、爆発、火災の恐れがあります。

▲ 注意

危険な状況を警告するシンボルです。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、けが、 物的損害の恐れがあります。

注記

人身傷害につながらない、手順やその他の事象に関する情報を示すシンボルです。

2.1.2 電気シンボル

 \sim

交流

\sim

直流および交流

_ _ _

直流

Ŧ

グランド接続

オペレータに関する限り、接地システムを用いて接地された接地端子

🕀 保護接地(PE)

その他の接続を行う前に接地端子の接地接続が必要です。

接地端子は機器の内側と外側にあります。

- 内側の接地端子:保護接地と電源を接続します。
- 外側の接地端子:機器とプラントの接地システムを接続します。

2.1.3 工具シンボル

•

プラスドライバー

00 マイナスドライバー

0 トルクドライバー

○ 六角レンチ が 六角スパナ

2.1.4 特定の情報や図に関するシンボル

✓ 使用可

許可された手順、プロセス、動作

☑ ☑ 推奨

推奨の手順、プロセス、動作

🔀 使用不可

禁止された手順、プロセス、動作

🚹 ヒント

追加情報を示します。

資料参照

図参照

注意すべき注記または個々のステップ

1., 2., 3.

一連のステップ

操作・設定の結果

۲

目視確認

操作ツールによる操作

æ

書き込み保護パラメータ

1, 2, 3, ...

項目番号

A, B, C, ...

図

▲→ 💷 安全上の注意事項

関連する取扱説明書に記載された安全上の注意事項に注意してください。

□□ 浸 接続ケーブルの温度耐性

接続ケーブルの温度耐性の最小値を指定します。

3 基本安全注意事項

3.1 要員の要件

作業を実施する要員は、以下の要件を満たさなければなりません。

- ▶ 訓練を受けて、当該任務および作業に関する資格を取得した専門作業員であること。
- ▶ 施設責任者の許可を得ていること。
- ▶ 各地域/各国の法規を熟知していること。
- ▶ 作業を開始する前に、取扱説明書、補足資料、ならびに証明書(用途に応じて異なります)の説明を読み、内容を理解しておくこと。
- ▶ 指示に従い、基本条件を遵守すること。

3.2 指定用途

アプリケーションおよび測定対象物

取扱説明書で説明する機器は、Endress+Hauser Micropilot M および Micropilot S シリーズ のレーダーやその他の HART 対応機器用のモニタリングユニットです。タンクサイドに 取り付けると、測定データが表示されます。タンクに接続したセンサに対して本質安全防 爆 (i.s.) または耐圧防爆 (XP) 機能を提供します。さまざまな業界標準のデジタルゲージ 通信プロトコルにより、開放型のタンクゲージおよび在槽管理システムへの統合をサポー トします。

危険場所、サニタリアプリケーション、または、プロセス圧力によるリスクが高いアプリ ケーションで使用する機器は、それに応じたラベルが銘板に貼付されています。

運転時間中、機器が適切な条件下にあるよう、次の点に注意してください。

- ▶ 本機器を使用する場合は必ず、銘板に明記されたデータ、ならびに取扱説明書や補足資料に記載された一般条件に従ってください。
- ▶ 注文した機器が危険場所や圧力容器安全区域などの仕様になっているか、銘板を確認してください。
- ▶ 本機器を大気温度で使用しない場合は、関連する機器資料に記載されている基本条件を 遵守することが重要です。
- ▶ 環境の影響による腐食から機器を恒久的に保護してください。
- ▶「技術仕様書」の制限値に従ってください。

不適切な使用や指定用途以外での使用に起因する損傷については、製造者は責任を負いません。

3.3 労働安全

機器で作業する場合:

▶ 各地域/各国の法規に従って必要な個人用保護具を着用してください。

3.4 操作上の安全性

けがに注意!

- ▶ 適切な技術的条件下でエラーや不具合がない場合にのみ、機器を操作してください。
- ▶ 施設責任者には、機器を支障なく操作できるようにする責任があります。

危険場所

危険場所(例:防爆区域)で機器を使用する際の作業員やプラントの危険を防止するため、 以下の点にご注意ください。

- ▶ 注文した機器が危険場所の仕様になっているか、銘板を確認してください。
- ▶ 本書に付随する別冊の補足資料の記載事項にご注意ください。

3.5 製品の安全性

本機器は、最新の安全要件に適合するように GEP (Good Engineering Practice) に従って設 計され、テストされて安全に操作できる状態で工場から出荷されます。本機器は一般的な 安全基準および法的要件を満たしています。

注記

湿潤環境下で機器を開けると保護等級が無効になります。

▶ 湿潤環境下で機器を開けると、銘板に示された保護等級の有効性が失われます。これは、機器の安全な操作を妨げる可能性もあります。

3.5.1 CE マーク

本計測システムは、適用される EU 指令の法的要件を満たしています。これについては、 適用される規格とともに EU 適合宣言に明記されています。

Endress+Hauser は本製品が試験に合格したことを、CE マークを付けることにより保証いたします。

3.5.2 EAC 適合性

本計測システムは、適用される EAC ガイドラインの法的要件を満たしています。これについては、適用される規格とともに EAC 適合宣言に明記されています。

Endress+Hauser は本製品が試験に合格したことを、EAC マークを付けることにより保証いたします。

4 受入検査および製品識別表示

4.1 受入検査

納品時に以下の点を確認してください。

- 納品書のオーダーコードと製品ステッカーに記載されたオーダーコードが一致するか?
- 納入品に損傷がないか?
- 銘板のデータと納品書に記載された注文情報が一致しているか?
- 必要に応じて(銘板を参照):安全上の注意事項(XA)が同梱されているか?

1つでも条件が満たされていない場合は、当社営業所もしくは販売代理店にお問い合わせください。

4.2 製品識別表示

機器を識別するには、以下の方法があります。

- 銘板の仕様
- 銘板に記載されたシリアル番号をデバイスビューワー(www.endress.com/deviceviewer) に入力します。機器に関するすべての情報および機器に添付される技術資料の一覧が表示されます。
- 銘板のシリアル番号を Endress+Hauser Operations アプリに入力するか、Endress
 +Hauser Operations アプリで銘板の 2-D マトリクスコード (OR コード) をスキャンする
 - と、機器に関するすべての情報および機器に付属する技術仕様書が表示されます。
- 関連する技術資料の概要については、以下を参照してください。
 - デバイスビューワー (www.endress.com/deviceviewer):銘板のシリアル番号を入 力します。
 - Endress+Hauser Operations アプリ:銘板のシリアル番号を入力するか、銘板のマトリクスコードをスキャンしてください。

4.2.1 製造者所在地

Endress+Hauser SE+Co. KG Hauptstraße 1 79689 Maulburg, Germany 製造場所:銘板を参照してください。

4.3 保管および輸送

4.3.1 保管条件

- 保管温度:-50~+80°C(-58~+176°F)
- 出荷時の梱包材を使用して機器を保管してください。

4.3.2 輸送

▲ 注意

けがに注意してください

- ▶ 機器を測定点まで輸送する場合は、出荷時の梱包材を使用してください。
- ▶ 意図せずに傾くことがないよう、機器の重心を考慮してください。
- ▶ 18 kg (39.6 lb) を超える機器に関する安全上の注意事項、輸送条件を遵守してください (IEC 61010)。

5 取付け

5.1 取付要件

5.1.1 壁面取付け



🗟 1 Tankside Monitor の壁取付け

5.1.2 パイプ取付け

仕様コード 620「同梱アクセサリ」	取付キット
PV	取付キット、パイプ、呼び口径 32~50 mm (1-1/4~2")
PW	取付キット、パイプ、呼び口径 80 mm (3")



E 2 Tankside Monitor の垂直パイプへの取付け

取付け



Tankside Monitor の水平パイプへの取付け

6 電気接続

6.1 接続要件

6.1.1 ケーブル仕様

端子

ケーブル断面 0.2~2.5 mm² (24~13 AWG)

対応端子:信号および電源

- スプリング端子 (NRF81-xx1...)
- スプリング端子 (NRF81-xx2...)

ケーブル断面:最大 2.5 mm² (13 AWG)

対応端子:端子室の接地端子

ケーブル断面:最大4mm² (11 AWG)

対応端子:ハウジングの接地端子

電源線

電源線には標準の機器ケーブルで使用できます。

HART 通信線

- アナログ信号のみを使用する場合は、標準の機器ケーブルを使用できます。
- HART プロトコルを使用する場合は、シールドケーブルを推奨します。プラントの接地 コンセプトに従ってください。

Modbus 通信線

- TIA-485-A (Telecommunications Industry Association) のケーブル条件に従ってください。
- その他の条件:シールドケーブルを使用してください。

V1 通信線

- 2線式ツイストペア (シールド付きまたはシールドなしケーブル)
- ■1本のケーブルの抵抗:≤120Ω
- 線間の静電容量: ≤ 0.3 µF

WM550 通信線

- 2 線式ツイストペア (シールドなしケーブル)
- 最小断面積 0.5 mm² (20 AWG)
- 最大全ケーブル抵抗:≤250Ω
- 低容量のケーブル

6.2 機器の接続

6.2.1 端子の割当て



■ 4 端子室(標準例)および接地端子

月 ハウジングのネジ

電子回路部と端子接続部のネジは、摩擦防止コーティングを施すことが可能です。 以下は、すべてのハウジング材質に適用されます。

🔀 ハウジングのネジは潤滑しないでください。

端子部 A/B/C/D(I/O モジュール用スロット)

モジュール:最大4つのI/Oモジュール(オーダーコードに応じて異なります)

- 4つの端子付きモジュールは、これらのいずれのスロットにも使用できます。
- 8つの端子付きモジュールは、スロットBまたはCに使用できます。

端子部 E

- モジュール: HART Ex i/IS インタフェース
- E1 : H+
- E2 : H-

端子部 F

- リモートディスプレイ
- F1: Vcc (リモートディスプレイの端子 81 への接続)
- F2:信号 B (リモートディスプレイの端子 84 への接続)
- F3:信号A(リモートディスプレイの端子83への接続)
- F4: Gnd (リモートディスプレイの端子 82 への接続)

端子部 G(高電圧 AC 電源および低電圧 AC 電源用)

- G1 : N
- G2:接続なし
- G3 : L

端子部G(低電圧DC電源用)

- G1 : L-
- G2:接続なし
- G3 : L+

端子部:保護接地

モジュール:保護接地端子 (M4ネジ)



图 5 端子部:保護接地

電源



A0033413

- G1 N
- **G2** 接続なし
- G3 L
- 4 緑色の LED: 電源を示します



📔 電源電圧は銘板にも記載されています。

電源電圧

高電圧 AC 電源:

動作值: $100 \sim 240 V_{AC}$ (-15% +10%) =85 $\sim 264 V_{AC}$, 50/60 Hz

低電圧 AC 電源:

動作值: 65 V_{AC}(- 20 % + 15 %) = 52~75 V_{AC}、50/60 Hz

低電圧 DC 電源:

動作值: 24~55 V_{DC} (-20%+15%) =19~64 V_{DC}

消費電力

最大電力は、モジュールの設定に応じて異なります。値は最大皮相電力を示しています。 これに応じて適切なケーブルを選択してください。実際に消費される有効電力は12Wで す。

高電圧 AC 電源:

28.8 VA

低電圧 AC 電源:

21.6 VA

低電圧 DC 電源:

13.4 W

リモートディスプレイと操作モジュール DKX001



- 図 6 リモートディスプレイおよび操作モジュール DKX001 とタンクゲージ機器(NMR8x、NMS8x または NRF8x)の接続
- 1 リモートディスプレイと操作モジュール
- 2 接続ケーブル
- 3 タンクゲージ機器 (NMR8x、NMS8x または NRF8x)
- リモートディスプレイと操作モジュール DKX001 がアクセサリとして用意されています。詳細については、個別説明書 (SD01763D) を参照してください。
- 測定値は DKX001 に表示されます。また、現場表示器と操作モジュールに同時に表示されます。
 - 両方のモジュールで操作メニューに同時にアクセスすることはできません。モジュールのいずれかで操作メニューが入力された場合、他方のモジュールは自動的にロックされます。このロックは、最初のモジュールでメニューが閉じられるまで有効です(測定値の表示に戻る)。

HART Ex i/IS インタフェース



- E1 H+
- E2 H-

3 オレンジ色の LED: データ通信を示します

このインタフェースは、接続した HART スレーブ変換器用のメイン HART マスタとして常時動作します。また、アナログ I/O モジュールを HART マスタ/スレーブとして設定することもできます → 自 20 → 自 23。

I/O モジュール用スロット

端子室には、I/O モジュール用の 4 つのスロット (A、B、C、D) があります。機器バージョンに応じて (仕様コード 040、050、060)、これらのスロットに対応する I/O モジュールは異なります。機器のスロット割当ては、表示モジュールの背面カバーのラベルにも記載されています。



- 1 スロット A~D のモジュールを示すラベル
- A スロットAの電線管接続口
- B スロットBの電線管接続口
- C スロットCの電線管接続口
- D スロットDの電線管接続口

「Modbus」、「V1」、「WM550」モジュールの端子



■ 7 機器バージョンに応じて、「Modbus」、「V1」、「WM550」モジュール(例)がスロットBまたはCに対応する場合があります。

機器バージョンに応じて、「Modbus」、「V1」、「WM550」モジュールが端子室の別のスロ ットに対応する場合があります。操作メニューでは、「Modbus」、「V1」、「WM550」イン タフェースは、それぞれのスロットおよびスロット内の端子の名称で表示されます (A1-4、 B1-4、C1-4、D1-4)。

「Modbus」モジュールの端子

操作メニューのモジュールの表示: Modbus X1~4 (X = A、B、C、または D) ■ X1¹⁾

- 端子名称:S
- 説明:コンデンサを介してアースに接続したケーブルシールド
- X2¹⁾
 - 端子名称: 0V
 - 説明: 共通参照
- X3¹⁾
 - 端子名称:B-
 - 説明:非反転信号線
- X4¹⁾
 - 端子名称:A+
 - 説明:反転信号線

^{1) 「}X」は「A」、「B」、「C」、「D」のいずれかを表します。

「V1」および「WM550」モジュールの端子

操作メニューのモジュールの表示: V1 X1~4 または WM550 X1~4 (X = A、B、C、また は D)

- X1²⁾
 - 端子名称:S
 - 説明:コンデンサを介してアースに接続したケーブルシールド
- X2 ¹⁾
 - 端子名称:-
 - 説明:接続なし
- X3¹⁾
 - 端子名称:B-
 - 説明:プロトコルループ信号-
- X4¹⁾
 - 端子名称:A+
 - 説明:プロトコルループ信号+

^{2) 「}X」は「A」、「B」、「C」、「D」のいずれかを表します。

パッシブ使用の「アナログ I/O」モジュールの接続

- パッシブ使用では、通信線の電源電圧を外部電源から供給する必要があります。
 - 配線は、アナログ I/O モジュールの動作モードに準拠する必要があります。以下の 図を参照してください。

「動作モード」=「4-20mA 出力」または「HART スレーブ+4-20mA 出力」



- 図8 出力モードのアナログ I/O モジュールのパッシブ使用
- a 電源
- b HART 信号出力
- c アナログ信号評価

「動作モード」=「4-20mA 入力」または「HART マスタ+4-20mA 入力」



- 図 9 入力モードのアナログ I/O モジュールのパッシブ使用
- a 電源

b 4~20 mA または HART 信号出力を使用する外部デバイス

「動作モード」=「HART マスタ」



- 図 10 HART マスタモードのアナログ I/O モジュールのパッシブ使用
- a 電源
- b HART 信号出力を使用する最大 6 台の外部デバイス

アクティブ使用の「アナログ I/O」モジュールの接続

- アクティブ使用では、通信線の電源電圧は機器本体から供給されます。外部電源は 不要です。
 - 配線は、アナログ I/O モジュールの動作モードに準拠する必要があります。以下の 図を参照してください。
- ・ 接続する HART 機器の最大消費電流:24 mA

 (6 台の機器を接続した場合、機器1台あたり4 mA)
 - Ex-d モジュールの出力電圧: 17.0 V@4 mA~10.5 V@22 mA
 - Ex-ia モジュールの出力電圧: 18.5 V@4 mA~12.5 V@22 mA

「動作モード」=「4-20mA 出力」または「HART スレーブ+4-20mA 出力」



- 図 11 出力モードのアナログ I/O モジュールのアクティブ使用
- a HART 信号出力
- b アナログ信号評価



「動作モード」=「4-20mA 入力」または「HART マスタ+4-20mA 入力」

A0027935

- 図 12 入力モードのアナログ Ⅰ/0 モジュールのアクティブ使用
- a 4~20 mA または HART 信号出力を使用する外部デバイス

「動作モード」=「HART マスタ」



🖻 13 HART マスタモードのアナログ I/O モジュールのアクティブ使用

a HART 信号出力を使用する最大 6 台の外部デバイス

測温抵抗体の接続



A 4線式測温抵抗体の接続

B 3線式測温抵抗体の接続

C 2線式測温抵抗体の接続

Micropilot S FMR5xx の接続



図 14 Tankside Monitor NRF81 のアナログ入力モジュールへの Micropilot S FMR5xx の接続

- A Tankside Monitor NRF81
- B Micropilot S FMR5xx
- 1 接地
- 2 電源 (NRF81から FMR5xx へ)
- 3 4~20mA/HART 信号 (FMR5xx から NRF81 へ)

このように接続した場合、Tankside Monitor NRF81 から Micropilot S FMR5xx に電圧 が供給されます。 「デジタル I/O」モジュールの端子



- 🖻 15 デジタル入力または出力の名称(例)
- 各デジタル IO モジュールは、2 つのデジタル入力または出力を備えています。
- 操作メニューでは、各入力または出力は、それぞれのスロットおよびスロット内の2つの端子の名称で表示されます。たとえば、A1~2は、スロットAの端子1と2を表します。デジタル IO モジュールが含まれる場合、スロットB、C、D にも同じことが当てはまります。
- これらの端子の組合せごとに、操作メニューで以下のいずれかの動作モードを選択できます。
 - 無効
 - パッシブ出力
 - パッシブ入力
 - アクティブ入力

6.3 保護等級の保証

規定の保護等級を確認するために、電気接続後に以下の手順を実行してください。

- 1. ハウジングシールに汚れがなく、適切に取り付けられているか確認してください。 必要に応じて、シールの乾燥、清掃、交換を行います。
- 2. ハウジングのネジやカバーをすべてしっかりと締め付けます。
- 3. ケーブルグランドをしっかりと締め付けます。
- 4. 電線口に水滴が侵入しないように、電線口の手前でケーブルが下方に垂れるように 配線してください (「ウォータートラップ」)。



5. 機器の安全定格(例: Ex d/XP) に適したブラインドプラグを装着してください。

7 設定

7.1 操作方法

7.1.1 現場表示器による操作



図 16 表示部および操作部

- 1 液晶表示ディスプレイ (LCD)
- 2 光学式キーはカバーガラスから操作できます。カバーガラスなしで使用する場合は、光学式セン サの前に指を軽く置いて作動させます。強く押さないでください。

標準画面(測定値表示部)



■ 17 標準画面の一般的な表示(測定値表示部)

- 1 表示モジュール
- 2 Device TAG (機器のタグ)
- 3 ステータスエリア
- 4 測定値の表示エリア
- 5 測定値およびステータスシンボルの表示エリア
- 6 測定値のステータスシンボル

😭 表示シンボルの内容については、機器の取扱説明書 (BA) を参照してください。

ナビゲーション画面(操作メニュー)

操作メニュー(ナビゲーション画面)にアクセスするには、以下の操作を行います。

- 標準画面で E キーを 2 秒以上押します。

 → コンテキストメニューが表示されます。
- 2. コンテキストメニューから キーロック オフを選択し、E キーを押して確定します。
- 3. もう一度 E キーを押して操作メニューにアクセスします。



A0047013

- 🖻 18 ナビゲーション画面
- 1 現在のサブメニューまたはウィザード
- 2 クイックアクセスコード
- 3 ナビゲーションの表示エリア

7.1.2 サービスインタフェースおよび FieldCare/DeviceCare 経由の操作



🖻 19 サービスインタフェース経由の操作

- 1 サービスインタフェース (CDI = Endress+Hauser Common Data Interface)
- 2 Commubox FXA291
- 3 「FieldCare」または「DeviceCare」操作ツールおよび「CDI Communication FXA291」COM DTM を搭載したコンピュータ
- 7.2 初期設定

7.2.1 表示言語の設定

表示モジュールによる表示言語の設定

- 2. Language を開き、ディスプレイの言語を選択します。

操作ツール(FieldCare など)による表示言語の設定

- 1. 次の項目に移動します。設定→高度な設定→表示→Language
- 2. 表示言語を選択します。
- この設定は、表示モジュールの言語にのみ適用されます。操作ツールで言語を設定する場合は、FieldCare または DeviceCare のそれぞれの言語設定機能を使用してください。

7.2.2 リアルタイムクロックの設定

表示モジュールによるリアルタイムクロックの設定

- 1. 次の項目に移動します。設定 → 高度な設定 → 日付 / 時刻 → 日付の設定
- 2. 各パラメータ(年、月、日、時、分)を使用して、リアルタイムクロックを現在の 日時に設定します。

操作ツール(FieldCare など)によるリアルタイムクロックの設定

1. 次の項目に移動します。設定 → 高度な設定 → 日付 / 時刻



日付の設定に移動して、開始を選択します。

3.	Date/time: 🗘	2016-04-20 09:34:25
	Set date: ?	Please select
	Year:	2016
	Month:	4
	Day:	20
	Hour:	9
	Minute:	34

各パラメータ(年、月、日、時、分)を使用して、日時を設定します。

4.	Date/time: 🔁	2016-04-20 09:35:49
	Set date: ? 🕨	Please select 🗸
	Year:	Please select Abort
	Month:	Start
	Day:	Confirm time
	Hour:	9
	Minute:	34

日付の設定に移動して、Confirm time を選択します。

▶ リアルタイムクロックが現在の日時に設定されます。

7.3 校正および設定

入力および信号出力の校正および設定については、取扱説明書を参照してください。



71637880

www.addresses.endress.com

